

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 10-02-02	事務事業名 特色ある学校推進事業（総合的な学習）	所管部課 教育部 学校運営課
-------------------	--------------------------	----------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	総合的な学習の時間は各学校の創意工夫に任されている。この授業を通して各学校が特色の出せるような教育環境を整える。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 特色ある教育活動に必要な消耗品費(教材費、図書費)を各学校の規模等(学級数、児童・生徒数)を勘案して配当(小・3,246,000円、中・1,511,000円)。また、印刷製本費及び車椅子の運搬料を申請に基づき配当する。各学校から各学期ごとに提出される事業費報告書を精査し、適切な予算執行がされるように指導している。	
事業開始時期	14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		7,399	6,111	5,537	4,983
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		7,399	6,111	5,537	4,983
所要人員(B)	人	0.17	0.17	0.17	0.17
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,388	1,374	1,374	1,388
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	8,787	7,485	6,911	6,371
単位当たりコスト(E)=(D)/(予算執行状況)	千円	0	0	0	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 予算執行状況	実績値 円	6,415,315	5,472,938	4,809,653	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 学校に配当した金額に対し、執行された額					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 実施授業時数	目標値 件				220
	実績値 件	193	196	216	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 市内小・中学校(28校)の授業総数					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	学校からの要望では配当予算の現状維持を希望している。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 近隣6市(武蔵野市、三鷹市、小平市、清瀬市、東久留米市、東村山市)に特色ある学校推進事業費について調査を実施。特色ある教育活動に対し予算配当をしている市は3市。1校当たりの予算額の比較では、西東京市は3番目である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 10-02-02	事務事業名 特色ある学校推進事業（総合的な学習）	所管部課 教育部 学校運営課
-------------------	--------------------------	----------------------

施策コード 創2-3	施策名 学校教育の充実	施策目標 一人ひとりが輝き、生きる力を育む活力ある学校づくりをめざします。
---------------	----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>平成21年度に予算の配当方法を見直し、一律配当から各校の規模等を勘案して配当する方法に変更している。</p> <p>学習指導要領に定められた総合的な学習の時間の目標を達成するために各学校は創意工夫を生かした教育活動を行なっている。市としてはこの教育活動に支障が生じないよう継続的に財政支援を行なっていく必要があるとの観点から継続実施と考えている。</p> <p>だが、今後は予算を適正に執行するため、各学校の報告書の書き方等についてさらに指導していきたい。</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>本事業は、特色ある教育活動に必要な教材費・図書費等の消耗品費を各学校に配当している。この配当方法については、平成21年度に一律配当を見直し、各学校の規模等による配当方法に変更したことは評価できる。ただし、現状では予算配当後の各学校の取組状況についての把握が難しい状況となっている。現在でも各学校から事業費報告書の提出をしているようだが、さらなる学校教育の充実に向け、学校側の意見だけでなく、本事業の目的に対する実績・評価を検証するシステムの構築に取り組む必要がある。また、近隣6市中、特色ある学校推進事業を実施しているのは3市とのことなので、各市の状況を把握し、事業の見直しについて検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、一律配当を見直し、各校の規模等に応じた予算配当に改善したことは評価できるが、予算配当後の各校の取組状況の把握が十分でない点は課題である。二次評価でも指摘されているように、特色ある学校教育を推進するという事業目的の観点から評価・検証を行うとともに、各校の取組事例について市内全校が情報を共有することで、さらなる充実に向けた発想を支援するためにも、取組状況の報告を早急に改善すべきである。</p>